

☆masaki

学校教育目標 「自他の良さを認め、共に伸びる生徒の育成」
校 訓 「真面目にします 仲よく協力します よい言葉を使います」

感動の文化祭

11月2日（土）、夢（ドリーム）～一人ひとりの夢をつかみとれ～のテーマのもと、令和6年度松前中学校文化祭が行われました。

生徒会役員のハンドベルの演奏で厳かに始まった今年度の文化祭。

はじめに3年生の「総合的な学習の時間」の発表が行われました。地元食材を使って「MASAKI PIZZA」を考案し、発表した班。「たきひめ伝説」をもとに「おたたさん」について調べて紙芝居を作成し、地元の幼稚園で発表したことをまとめて発表した班。夏休みを利用して松前の海に落ちている「海洋ごみ」について調べ、発表した班。どの班も、「ふるさと松前に貢献しよう」という「松前愛」を感じさせてくれる素晴らしいものでした。来年度以降の「総合的な学習の時間」のヒントになったのではないのでしょうか。

また、今年度から5年ぶりに再開された学年合唱は圧巻でした。1年生はきれいな歌声が光りました。一人一人の歌声が本当に美しかったです。2年生は、重厚感のある男声と美しい女声の調和がとれていてすばらしかったです。3年生は、最高学年としてのプライドを感じさせられる、そして、聴いている人に感動を与えるまさに「ハーモニー」と呼べる素晴らしいものでした。どの学年も「一生懸命」の貫かれたすばらしい歌声でした。

生徒会有志発表では、歌あり、ピアノ演奏あり、漫才ありで、文化祭に彩りを与えてくれました。「こんな才能を持っていたのか」と驚かされるパフォーマンスでした。

3年生の体育のダンスは、「さすが3年生」と思われる切れのあるもので、「来年は僕たちが」「再来年は私たちが」と感じた1・2年生も多かったのではないかと思います。これからも、1・2年生の「あこがれ」の存在であり続けてほしいと強く感じたダンス発表でした。3年部の先生たちも、生徒とともにダンスに参加し切れ味のあるダンスを披露しました。常に生徒を愛し、生徒のことを第一に考え、生徒のために行動する教師団のすばらしさを感じました。

吹奏楽部の発表は伊予高校と一緒に行われました。合同練習を重ねてきただけあって、息もぴったり。すばらしい演奏を披露してくれました。伊予高校の演奏もすばらしいものでした。毎年のように全国大会出場を果たしている高校だけあって、心が震える演奏でした。「本物」に触れる機会を与えてくれたことに感謝せずにはいられませんでした。

今年度は、文化祭までの「過程」もすばらしいものでした。その姿は「学年合唱」に表れていました。中間発表会で3年生が「一生懸命」取り組むことのすばらしさを後輩たちに背中であげ、1・2年生も3年生のすごさを見て、「あんなふうになりたい」「あんなふうにはがんばらないといけない」と感じ、「全力」でがんばることができました。合唱練習を通じて、「心」を鍛え、学年としての団結力を高め、一生懸命がんばることのすばらしさを感じることができた、まさに行事を通じて「人を育てる」ことにつながったと感じました。常に後輩たちのよき手本になってくれた3年生、その姿を見て、全力でがんばれた1・2年生、本当に立派でした。

文化祭途中で松前町に大雨・洪水警報が発表され、保護者の方々には体育館に残っていただき、子供たちを安全に連れて帰っていただくことにも御協力いただきました。本当にありがとうございました。

総じて、一生懸命が貫かれ、文化の香りが漂い、松前中学校生のすばらしさが光った感動の文化祭になりました。すばらしい文化祭ででっかい感動を与えてくれた生徒のみなさん、本当にありがとうございました。



行事を通して一人一人が成長できた大変すばらしい文化祭になりました。この文化祭で得たことを今後の学校生活に生かすとともに、次の目標に向かって気持ちを切り替えてがんばっていきましょう。